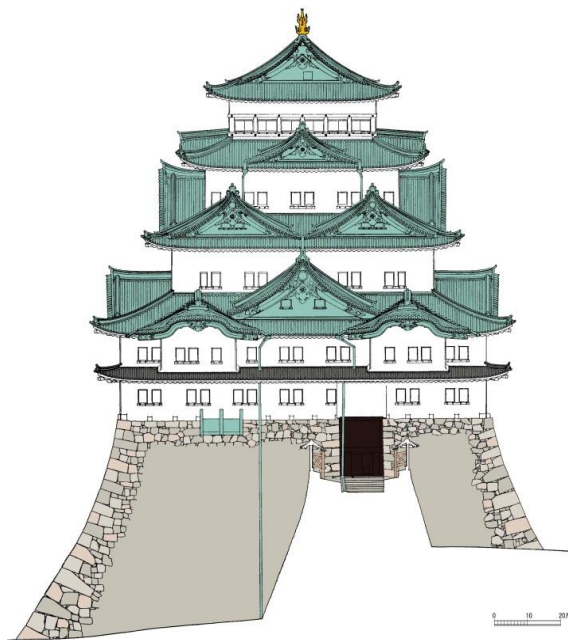


# 日本の名城と迷城

— 日本一の名古屋城を徹底的に知る講座 —

- 講師：広島大学大学院教授 三浦正幸
- 開講日：第3金曜日 13:00~14:30
- 受講料：6カ月（6回）分 15,000円（税別）

名古屋城には30以上の日本一がありました。天守は延べ床面積・最上階の規模・総高・破風の数・防弾壁・防火区画など日本一が14。本丸御殿は建物の数・種類・豪華さなどで7の日本一。小天守・櫓・城門・石垣・縄張も日本一だらけ。もちろん総合的に日本一の名城。そんな名古屋城を学術的に、しかも分かりやすく徹底解説します。4月から始まる6カ月講座です。



名古屋城天守南立面図 1/300 単位：尺

©着色：平成17年 山田岳晴

## 平成26年4月～9月カリキュラム

4月18日	再建中の本丸御殿は日本一の書院造りでした。上洛殿（家光の宿舎）と湯殿書院（お風呂）が史上最華美、質素な黒木書院は究極の家光「おもてなし」、清洲城の古殿舎を移築した対面所は尾張統治の正当性の象徴。
5月16日	天守の構造を徹底的に解明します。史上最大の巨大天守を支えた、太い木造土台は先端技術でした。天守台の穴蔵（地階）の構造に新説を。通し柱や心柱がない名古屋城は、姫路城よりずっと合理的など、盛り沢山です。
6月20日	外壁の柱間が奇数の17だった名古屋城天守は、左右対称に窓を並べられません。現在の再建天守にはないが、窓の戸は史上最強、窓の排水装置は史上最高性能。破風・石落とし・隠し狭間・金鯰・銅瓦の構造も解説。
7月18日	史上最大の小天守。他城の天守より大きい本丸の櫓。多門櫓と櫓門で3方向を囲った最強の枳形門を完全配備していました。南正面から見た多門櫓の長さは、史上最長。清洲櫓は清洲城天守の移築かなど櫓と城門の話です。
8月29日	名古屋城の石垣は20家の外様大名による天下普請で築かれました。築造技術の優劣がはっきりと分かります。時代遅れな「やせ石垣」、最先端の見事な反り石垣。初めて明らかにされるS字カーブの石垣。反則の谷積みも。
9月19日	縄張（城の構造・設計）の極意に迫ります。仮想敵の外様大名に縄張をわざと知らせた天下普請。絶対に破られないことを敵に思い知らせる名古屋城の縄張は、攻められること自体を抑止しました。広い城内にも注目を。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。



名古屋・栄 中日文化センター  
Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル  
☎0120-53-8164 10:00~19:00  
日曜日は17:00まで  
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金3,500円（税別）が必要です。